

第 80 回日本臨床眼科学会共催セミナー

網膜画像診断パワーアップ ～新章開始～



2026 年 10 月 29 日 (木)
12:30 - 13:20
LS10 ランcheonセミナー 10
B2F プリンスホール 2 第 11 会場
ザ・プリンス京都宝ヶ池



座長 **井上 真** 先生 杏林大学

| 座長のことば

【ご略歴】

1989 年 3 月 慶應義塾大学医学部卒業
1989 年 5 月 慶應義塾大学医学部眼科学教室入局
1994 年 7 月 杏林大学眼科 (網膜硝子体 Clinical fellow)
1996 年 7 月 Duke University Eye Center に留学
(Research fellow)

2003 年 10 月 慶應義塾大学眼科専任講師
2007 年 4 月 杏林大学眼科准教授
2014 年 10 月 同教授

近年、超広角眼底撮影装置の導入により網膜周辺部病変の観察が可能となり、また、Swept Source OCT の高浸透性能により、網脈絡膜疾患の精密な解析ができるようになりました。一方、臨床現場では、眼底画像情報の画質化および撮影検査効率の向上が診療の質に直結する重要な課題となっているのではないのでしょうか。本セミナーでは、網膜診療に精通した厚東先生と朝生先生に、トプコン社新製品の臨床応用経験についてご講演いただきます。GAIA は、無散瞳かつ超広角画像取得が可能な眼底撮影装置として、新たな画質レベルを実現し、網膜広範囲の観察に寄与します。厚東先生には、GAIA による実際の使用例と臨床事例を交えてご解説いただきます。また、朝生先生からは、Swept Source OCT 性能とスリットスキャン方式眼底カメラを搭載した Triton2 の実践的運用と、日常 OCT 検査への貢献についてご紹介いただきます。本セミナーを通じて、網膜診療における新たな画像診断技術への理解を深め、診療現場での応用へ役立てていただくことを期待しております。多数の先生方のご参加を心よりお待ちしております。



演者 1
厚東 隆志 先生
杏林大学

GAIA の黎明：

～超広角眼底スリットスキャナーで見る地平～

【ご略歴】

2001 年 4 月 慶應義塾大学医学部 卒業、同大学眼科学教室 入局
2003 年 3 月 慶應義塾大学大学院 博士課程
2007 年 4 月 東京都済生会中央病院 医員
2008 年 10 月 慶應義塾大学医学部 助教
2013 年 4 月 杏林大学医学部眼科学教室 講師
2021 年 4 月 杏林大学医学部眼科学教室 准教授



演者 2
朝生 浩 先生
経堂あそう眼科 / 日本大学

Triton2 の新章：

～経験からの一閃～

【ご略歴】

2007 年 日本大学医学部卒業
2007 年 社会保険横浜中央病院
2009 年 日本大学医学部附属
板橋病院眼科 後期専修医
2010 年 小川赤十字病院眼科 医員
2011 年 日本大学医学部附属
板橋病院眼科 後期専修医
2015 年 春日部市立医療センター
眼科医長 (部門責任者)
2017 年 日本大学医学部視覚科学系
眼科学分野助手
2019 年 日本大学医学部視覚科学系
眼科学分野助教
2022 年 経堂あそう眼科院長、
日本大学医学部視覚科学系
眼科学分野兼任講師